

無痛分娩を希望される方へ / ご案内、説明書

＜無痛分娩の特徴＞

- ① 無痛分娩は主に硬膜外麻酔法により行い、お産の痛みを和らげます。また無痛分娩という名称ではあっても完全な無痛にはなりません。
- ② 無痛分娩の効果が現れるのは薬を投与してから 10 分～15 分以上の後です。従って分娩の進行が予想以上に急速な場合、人によって出産までに無痛分娩が間に合わないこともあります。また、個人の体質により硬膜外麻酔の効果が現れにくい方もいらっしゃいます。
- ③ 無痛分娩を行っている場合でもお産はお母さんを中心に進みます。このため良いお産を行うには、あくまでお母さんの努力と工夫が必要です。お産の仕組みを良く知り、リラックスして望みましょう。

＜無痛分娩のメリット＞

- ① お産の痛みが和らぎます。落ち着いてお産と向き合いやすくなります。
- ② 分娩経過中に緊急帝王切開手術が必要となった時、無痛分娩の麻酔を一部利用することができます。
- ③ 会陰切開、裂傷縫合時の痛みが少なくなります。

＜無痛分娩のデメリット＞

- ① 分娩時間が延長することもあります。
無痛分娩は一般的に分娩時間が長くなる傾向があります。
- ② 吸引、鉗子分娩の割合増加
無痛分娩では痛みが取り除かれる代わりに胎児を娩出する力が弱まる傾向にあります。
そのため、胎児を娩出する補助としての手段、吸引、鉗子分娩の割合が増えます。
- ③ 硬膜外麻酔による合併症、注意点
次項にて詳しく説明をします。

＜硬膜外麻酔の合併症、注意点＞

硬膜外麻酔には確率は低いものの偶発的に起こり得る合併症があります。

① 母体の血圧低下（頻度：まれだがあり得る）

硬膜外麻酔では麻酔の影響で血管の抵抗が減少し血圧が低下することがあります。

お母さんの嘔気や赤ちゃんの心拍数低下に繋がる可能性があるため、血圧測定や胎児の心拍モニタリングを行い、状況に応じて血圧を上げるための薬を使用します。

② 鎮痛効果不十分（頻度：たまにある）

ヒトの背骨の形、神経の形状には個人差があり、異型、変形のある方では十分な麻酔効果を得られない場合があります。

③ 硬膜穿刺後頭痛（頻度：約 7 / 1000）

麻酔の影響で麻酔の翌日以降に頭痛が出現することがあります。多くは1週間以内に自然に良くなります。頭痛が酷い場合や他の症状が出現した時は治療が必要となることもあります。

④ 神経障害、排尿障害（頻度：約 1 / 4000）

出産の後に腰痛、足の痺れ、動かしにくさなどの神経障害、尿が出にくい、残尿感などの排尿障害が出現することがあります。原因については明確になっていませんが、麻酔の影響や、それに加え分娩時の体勢、赤ちゃんが産道から出てくる過程での影響が考えられています。多くは数日で自然に改善します。

⑤ 硬膜外血腫、硬膜外膿瘍（頻度：約 1 / 180000）

硬膜外麻酔でカテーテルを留置する硬膜外腔に血腫や膿瘍ができてしまう合併症です。

状況次第で手術による血腫や膿瘍の除去が必要になる場合があります。麻酔を担当する医師はこの合併症が起きないように十分に注意していますが、発生した場合にはしっかりとした対処が必要となります。

⑥ 局所麻酔薬中毒、全脊椎麻酔（頻度：極めて稀）

硬膜外麻酔の麻酔薬が本来とは異なる効果をもたらしたり異なる場所に入ることによって、意識消失や呼吸困難などを引き起こします。

この合併症の早期発見、合併症予防のため痛み止めはお母さんと赤ちゃんの様子を見ながら少量ずつ使用、追加してゆきます。麻酔を担当する医師は、この合併症が起きないように十分に注意していますが、発生した場合にはしっかりとした対処が必要となります。

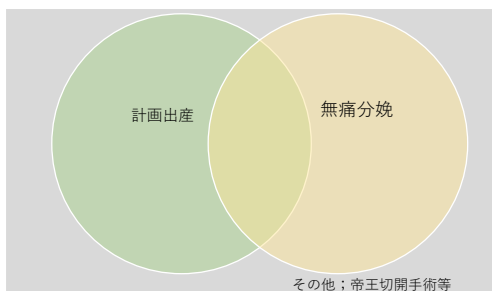
＜無痛分娩費用、その他＞

- ① 無痛分娩を行うことによって痛みが取れる割合は、個人により差があります。痛みが取れる割合にかかわらず、無痛分娩のための硬膜外麻酔を施行した時点で無痛分娩費用（**初産婦/15 万円、経産婦/12 万円、いずれもあらかじめ予定した場合、初産婦/18 万円、経産婦/15 万円、あらかじめの予定が無い場合**）が発生します。（下記表をご参照下さい。）
- ② 緊急帝王切開手術が必要となった場合も規定の無痛分娩費用が発生します。
- ③ 無痛分娩を際限なく続けることは医学的にできません。分娩が相当長時間にわたった場合、お母さん、赤ちゃんへの薬剤による悪影響が出ることを防ぐため、一時的に無痛分娩を中止することがあります。また、その他予測し得ない状況によりやむを得ず無痛分娩の継続が困難なこともあります。それらの場合を含め、無痛分娩のための硬膜外麻酔を施行した時点で無痛分娩費用が発生します。
- ④ 計画出産を無痛分娩と同時にご希望された場合、計画出産費用の一部が減額されます。詳細は計画出産の案内、申込書をご参照ください。計画出産と無痛分娩の関係は下記グラフをご参照ください。
- ⑤ 「妊婦さんノート」にある無痛分娩のご案内も併せてお読みになり、内容をよくご理解することが大切です。無痛分娩のご案内にご不明の点があれば必ず院長以下医師にお尋ねください。
- ⑥ この申し込みをされたあとでも、無痛分娩実施前であればいつでも取り消しは可能です。
- ⑦ 費用、その他内容は予告なく変更される場合があることをご了承ください。ご不明な点があれば担当者へ再確認することをお勧めします。

無痛分娩と計画出産の概念図・グラフ

無痛分娩費用

	初産婦	経産婦
予定あり	15万円	12万円
予定なし	18万円	15万円



説明した医師名

蔵持 和也

— 一切取り無効 —

無痛分娩申込書

☆私は無痛分娩に関する上記の説明につき、内容を理解、合意した上で無痛分娩を申し込みます。

妊婦氏名

家族氏名(いらっしゃる場合)

令和 年 月 日